

# 「柏崎の橋」

## 67 平成大橋・平成橋（橋場町・松波二丁目・榎原町）

平成大橋・平成橋は、橋場町と松波二丁目を結ぶ市道柏崎11-130号線の一部であり、どちらも鯖石川に架かっている。

県は昭和53年の6.26水害を契機に、鯖石川の第2次河川改修を進めてきた。その中の大事業として、橋場町・榎原町地内を蛇行して流れる鯖石川を直線化する新河川（ショートカット）の掘削が行われた。平成大橋は、掘削工事と並行して市と県の合併施工によって建設された橋であり、平成12年3月に新河川上に架けられた。また、同じく改修事業の一環として新設された市道柏崎11-130号線は、平成大橋を通して海岸部の荒浜や松波地区と西中通地区・国道8号をつないだ。それまで、松波地区と西中通地区を行き来するには、上流の開運橋を通るか、住宅街を何回も曲がる細い道を通るしかなかったため、この道路の整備は近隣住民の長年の願いであった。

「平成大橋」という名は、本格的な架橋工事が始まる際に、鯖石川・別山川下流改修促進期成同盟会（当時）が出した候補の中から、鯖石川の河川改修が平成の大事業であることや、市内に「安政橋」「天保橋」「大正橋」と年号にちなんだ名前の橋が多いことから選ばれた。橋の名が決まるまでは、河川改修でできた三日月型の中州に公園を造成する予定だったことから「公園橋」という仮称で呼ばれていた。現在、この中州は鯖石川改修記念公園が整備され、美しい景観に様変わりした。



平成大橋と米山



鯖石川 新旧河川と橋の様子  
国土地理院発行 2万5千分の1地形図  
『柏崎』（平成15年発行）を掲載

新河川に通水した後の平成14年2月、旧河川を埋め立てて残った水路には、平成橋が架けられた。また、その上流に位置する新河川の切り替え部分では、新しい開運橋が架けられた。同年4月、この一帯の事業が節目を迎えたことから、地元橋場町内会と松波町内会の主催により平成大橋・平成橋・開運橋と鯖石川改修記念公園の完成を祝う竣工祝賀会が行われた。祝賀会にはたくさんの住民や関係者が集い、地域のシンボルの竣工を盛大に祝った。

平成大橋の欄干は波を、照明や橋の銘板は鳥をモチーフに造られている。橋の中央には半円状の休憩場所があり、そこからは鯖石川の流れや刈羽三山が一望でき、開放感にあふれる。二つの橋と公園は、これからも鯖石川流域の地域住民だけでなく、市民が交流を深め、集う、魅力ある場になるであろう。

- 参考にした資料  
『柏崎日報』 柏崎日報社  
平成12年5月23日、平成12年5月26日  
平成14年3月22日、平成14年4月22日  
『西中通のあゆみ増補改訂版』（224 ニシ）  
西中通のあゆみ編さん委員会 編  
『会報にしなか』（379 ニシ）  
西中通コミュニティセンター 編